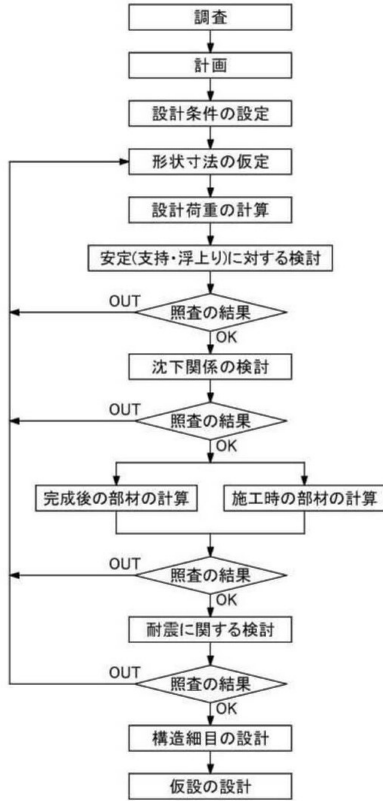
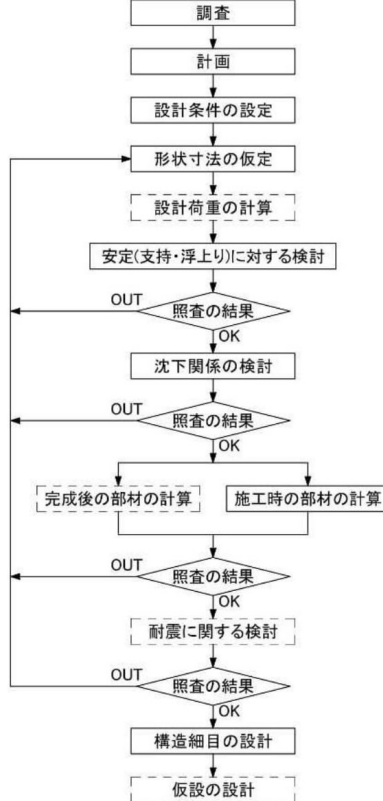


「大型・大深度地下構造物ケーソン設計マニュアル R2.3」 正誤表

内容に誤りがありましたので謹んで訂正いたします。

頁・行 図・表	誤	正
P.5 図 2-1	<p>フローの破線囲みが実線囲みになっている</p>  <p>注) [ ] は用途に応じた基準による。                      図 2-1 ケーソンの設計フロー</p>	 <p>注) [ ] は用途に応じた基準による。                      図 2-1 ケーソンの設計フロー</p>
P.20 下から 4 行目	$\gamma_w U = \gamma_w \cdot H_w \cdot A$	$U = \gamma_w \cdot H_w \cdot A$
P.40 上から 5 行目	7.3 に記述する . . .	参考資料-7 に記述する . . .
P.63 下から 13 行目	(5.1(2), 11.7 参照) . . .	(5.2(4), 11.8 参照) . . .
P.69 下から 8 行目	高流動コンクリートで充填するとよい . . .	高流動コンクリートで充填するのを標準とする . . .